

英語の授業および自発的学習のための英文サイト

A Note on Internet Websites for English Class and Spontaneous Study

林 弘美

Hiromi Hayashi

英語・英語学

E-Mail:hhayashi@my-pharm.ac.jp

0. はじめに¹⁾

本稿では、英語の授業や学生による自発的学習に利用しやすいウェブ・サイトとして、“Healthology”という英文サイトを取り上げ、その活用法について述べる。また、他の英文サイトやCD-ROM 教材、ポッドキャストとの簡単な比較を行う。

1. 英語の授業と学生による自発的学習

英語の聞き取り能力を高めるためには、授業においても、自発的学習においても、1) 学習者が自分の聞き取れない部分を自分のペースで繰り返し聞くことができる環境、2) 聞き取れない部分を容易に特定でき、その箇所を繰り返し再生できる教材・ソフト、3) 速度調節が可能であること、等が備えられると効果的である(cf. 林 (2005a))。以下では、英文サイト Healthology を取り上げ、どのように活用できるかについて述べる。

2. 英文サイト Healthology の特徴

Healthology (<http://www.healthology.com/>)では、医療・疾病に関するトピックについて 5 分程度の動画による説明を適宜(オン・デマンド)で見ることができる仕組みになっている。語学学習の観点から見ると、次のような特徴がある。

- (1)a. 動画クリップによる情報提供がある
- b. 英文スクリプトがついている
- c. ミニクイズがついている
- d. 関連ビデオを容易に参照できる
- e. アーカイブが充実している

(1a)の動画クリップでは、トピックの内容に関する映像や解説する研究者自身の姿、また話のポイントをまとめたもの等が動画として見られるため、英文理解の助けとなる。また、早送り・巻き戻しが可能であり、学習者が聞き逃した箇所や特に聞きたい箇所等を繰り返し聞くことができる。ただし、速度調節はできない。

(1b)の英文スクリプトについては、動画クリップのすぐ右に並んでいるウィンドウで、画面をスクロールしながら読んでいくことができるようになっている。また、別ウィンドウとして開き英文全体を一覧することも可能である。

(1c)のミニクイズというのは、動画クリップの内容確認のため、簡単な選択問題とその解説が用意されているものである。

そして、(1d)の関連ビデオとは、動画クリップの下に類似の内容の動画クリップへのリンクがあることを指す。ひとつの動画クリップの内容に興味を持った場合に、似たような話題の動画クリップを簡単に見ることができるようになっている。

さらに、(1e)で“アーカイブ”としたのは、過去に取り上げられたトピックがわかりやすく分類・保存されていることを指す。

¹⁾ 本稿は、2007年2月15日に行われた“第9回マルチメディアを基礎にした教育発表会”(於: 明治薬科大学)での口頭発表に加筆・修正を加えたものである。発表を聴いてくださった皆様に感謝を申し上げる。

3. 授業での活用

Healthology のサイトの授業での活用法はいろいろ考えられる。ここでは、普通教室での授業の場合とCALL 教室での授業の場合に分けて述べることにする。

まず、普通教室での授業において、英文スクリプトを読解用教材として使用することができる。英文のレベルは大学生にとって適切なものであると考える。ただし、医療・疾病に関するものであり、専門的な語彙がかなり含まれるため、教員側で説明を加えるとしても、基本的な専門用語を知らない学生にとっては初めは読みにくい可能性がある。が、そういった英文を読みこなすことにより、専門的な語彙が身につくはずである。

また、医療・疾病関連の単語を一通り確認するために、前述のアーカイブの“目次”となっているものを覚えるようにさせると効果的であろう。“目次”としては、常に表示されるようになっている“Featured Health Topics”に加え、さらに詳しいもの(“Index of Diseases and Conditions”)がある。“Featured Health Topics”としては、アルファベット順に(2)のようなものが並んでいる。

(2) Allergy / Alzheimer's Disease /
Arthritis / Asthma / Breast Cancer /
Cholesterol / Cold and Flu (以下省略)

このように基本的なものばかりであるため、もしわからないものがあれば覚えるように指導するとよいと思われる。一方、“Index of Diseases and Conditions”では、A の項目として(3)が挙げられている。

(3) Abuse & Addiction / Acid Reflux /
Acromegaly / ADD and ADHD / Aging /
Allergies / Alternative Medicine /
Alzheimer's Disease / Arthritis / Asthma

このレベルになると、全て覚えておく必要があるかどうかは指導者の考えに委ねられると思う。いずれにしても、こういった医療・疾病関連の単語を予め一通り覚えておくことは、実際に Healthology

のサイトを自分で見る際に役立つはずである。

CALL 教室の授業においては、各学生が自分でインターネットを閲覧し、Healthology 内の指定されたトピックの動画を、あるいは、自分が興味を持った動画を、視聴することができる。明治薬科大学の CALL 教室の場合、“ソフトレコーダ”というソフトがあり、これを用いれば、音声情報のみであるが、速度調節可能な音声ファイルに変換することもできる。授業内で Healthology のサイトの利用法を指導しておくことにより、単にサイトの URL を紹介する場合に比べ、学生の利用を促すことができると思われる。

4. 自発的学習のために

前述の Healthology の特徴は、学生が興味に応じて好きなトピックを自分のペースで読む上で適したものであると思われる。特に、動画と英文スクリプトを対応させることが簡単であること、また、関連ビデオの視聴が容易であることは、自発的に取り組もうという気持ちを持続させることに役立つであろう。

ただし、前述のように専門的な語彙も多いため、事前に(授業等で)ある程度の専門用語を習得したほうがよりスムーズにこのサイトを利用できることになるとと思われる。

5. 他の英文サイト・CD-ROM・ポッドキャスト との比較

5.1 その他の英文サイト

インターネット上には、Healthology 以外にも英語学習に役立つサイトが数多くある。例えば、本格的なニュースを視聴したい場合には、CNN のサイト (<http://us.cnn.com/>) 等が利用できる。CNN のサイトでは、動画付きのニュースも多く提供されている。ただし、その動画に直接対応する英文スクリプトが示されるわけではない。この点で、Healthology のサイトの場合は、動画クリップのすぐ隣に英文スクリプトが用意されているため、大

変使いやすい。

平易な英語によるニュースを聞きたい場合には、(動画はないが) VOA Special English (http://www.voanews.com/specialenglish/topics_summary.cfm)が利用しやすい。英文記事に対し、MP3 形式の音声ファイル(および、RealPlayer 対応の音声ファイル)が提供されている。ただ、音声ファイルを開くと英文記事のウィンドウが隠される形になるため、英文と音声に対応させるには、英文記事のウィンドウを再度開く必要がある。この点でも、Healthology のサイトの場合は、動画クリップと英文スクリプトを同時に見ることが容易であるため使いやすくなっている。

5. 2 CD-ROM 教材

明治薬科大学の CALL 教室には、70 台の学生用 PC に CD-ROM 教材として、TOEIC 試験対策用のものや頭痛をテーマとしたもの(“Medical English”)がインストールされており、学生が自由に学習を進められるようになっている。(“Medical English”については、林 (2005b)を参照。²⁾これらの CD-ROM 教材には学生のペースに応じて学習が進められるようさまざまな工夫が見られ、大いに利用を勧めたいが、学習場所が(インストール先である)CALL 教室に限定されるため、自宅等で自由に利用したい、というような学生の要求には応えられない。また、CD-ROM 教材は、当然のことながら自己完結した教材であるため、新しいトピックが追加されていく、ということはない。その点では、Healthology の英文サイトは、随時更新されるため、アクセスするたびに新たな情報を見つけることができる可能性があり、より学習意

²⁾ CD-ROM 教材“Medical English”は、文部科学省科学研究費補助金による特定領域研究「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」(領域代表者 坂元昂)の中の計画研究「外国語 CALL 教材の高度化の研究」(研究代表者 竹蓋幸生)の研究で作されたものである。

欲を高められると思われる。

5. 3 ポッドキャスト

ポッドキャストとは、インターネット上の音声ファイルを PC や MP3 プレイヤー (iPod 等)で聞くことである(詳しくは、林 (2006)を参照)。ポッドキャストが開始された当初は、音声のみの番組が大半であったが、最近は動画によるものも増えている。英語学習に利用できるものも増えているが、iPod 以外の MP3 プレイヤーで聞くことも可能であること、(MP3 プレイヤーがなくとも) PC で聞くことが可能であること、はあまり知られていないようで、学生の利用はまだ進んでいないように思われる。前述の CNN のサイトの中には、ポッドキャスト対応のサイト (<http://us.cnn.com/services/podcasting/>)があり、また、科学雑誌・医学雑誌の中でも *Scientific American* (<http://www.sciam.com/podcast/>) や *The Lancet* (<http://www.thelancet.com/audio>) のようにポッドキャストを行っているものがある。今後も興味深い番組が増加していくことが予想される。ただし、ポッドキャストでは、英文スクリプトは用意されていないものが多い。

また、ポッドキャストは、次の点で授業に取り入れることは難しい。第 1 に、ポッドキャストを PC で聞くことができるとはいえ、番組の定期的な購読(subscription)³⁾を行うためにはある手順が必要であり、また、そのために必要なソフト (iTunes 等)を大学の PC にダウンロードすることは認められない場合がある。⁴⁾ 第 2 に、手軽に MP3 プレイヤーを持ち歩きながら番組を楽しむ、というポッドキャストの利点を享受することは、MP3 プレイヤーにより使用法が異なることを考えると、授業中に一斉に指導することは困難で

³⁾ “購読”という表現が使われるが、利用は無料である。

⁴⁾ 明治薬科大学では、CALL 教室の学生用 PC に iTunes 等のソフトをダウンロードすることは禁止している。

ある。あくまでも自発的に取り組むべきものと位置づけたい。

6. おわりに

5節で取り上げた英文サイト、CD-ROM 教材、ポッドキャストと比較すると、2節で見た Healthology のサイトは、英語の授業に利用するにも学生の自発的学習に利用するにも、便利なものであると思われる。3節・4節で述べたように、まず授業で利用法を確認し、必要な専門用語を習得させた上で、学生の自発的学習につなげるよう指導を進めていきたいと考える。

引用文献

- 林 弘美 (2005a) 「コンピュータによる音声情報の利用について」『明治薬科大学研究紀要』 **34**、58-62.
- 林 弘美 (2005b) 「大学英語カリキュラムと学生の自発的学習の支援—ESP における CD-ROM 教材を活用した取り組み—」『明治薬科大学研究紀要 [人文科学・社会科学]』 **35**、117-129.
- 林 弘美 (2006) 「学生の自発的英語学習のために」『明治薬科大学研究紀要』 **35**、48-52.